

健康経営の効果 共有

うちなー企業会 特別定例会



従業員のメンタルヘルスをテーマに意見を交わすパネルディスカッションの登壇者ら=26日、那覇市の沖縄ハーバービューホテル

全国健康保険協会(協会けんぽ) 沖縄支部などは26日、企業の健康経営の取り

組みを共有する「うちなー健康企業会」の特別定例会を那覇市内で開き、従業員

のメンタルヘルスをテーマに専門家パネルディスカッションで意見を交わした。

アクサ生命保険HPM推進部の足立愛氏は、自身も不調で休職した体験を踏まえ「メンタルヘルスを人ごとと思わず、自分や周りの変化に目を向けてほしい」と呼びかけた。

また臨床医の山本和儀氏はストレスチェックの活用で「症状の早期発見や職場環境の改善につなげてほしい」と強調。産業医の得津慶氏は「職場と本人を橋渡しするのが産業医の役割だ」とし、専門家への早めの相談が重要と語った。

第2部のグループディスカッションでは、企業担当者が健康経営の導入の効果について意見交換。定例会には31社から44人が参加した。(政経部・大川藍)